

つくば市医師会



飯間 幸夫 会長 (飯間 幸夫 会長)

65歳以上の高齢者は約半数近くが何らかの自覚症状を訴え、日常生活に影響のある人も少なからず見受けられます。つくば市医師会は、つくば市と共に地域に合った住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体的な提供に向けて協議を進めています。

烏山診療所



今高 隆夫 院長

健康に関するあらゆることを総合的に診断し、一人ひとりにあった医療を提供します。訪問診療、訪問看護、訪問介護、訪問リハビリ、居宅介護支援事業所の各部門が他の事業所と連携し、地域の患者様にとって必要な医療と介護を両面から支えます。

サンシャイン・クリニック



金丸 修三 院長

高血圧や糖尿病などの生活習慣病に対し、食事・運動・睡眠など、文字通り生活習慣を見直すことに焦点を当て、診断・治療・予防に当たります。高齢の方はもちろん、中壮年の方には、20年後・30年後を想定して、よりよい人生を過ごせるようお手伝いしたいと思います。

サンルーナ 小寺内科クリニック



小寺 実 院長

頭痛、しびれ、めまい・ふらつき、歩行障害、麻痺、ふるえ、物が二重に見える、物忘れ、意識障害などの神経症状を診察します。脳卒中、心筋梗塞、閉塞性動脈閉塞症などの発症の予防には動脈硬化の危険因子である高血圧の治療が最も効果的です。診断としての24時間ABPM、CAVI検査もできます。

体内に塩分が入ると、体は塩分濃度を一定に保つために、塩分1gにつき水分(血液)を1200cc増やす必要があり、その分血圧が上昇する仕組みになっています。日本人は、一般的に塩分を取り過ぎていて傾向があり、健康な人でも1日10g未満に、血圧の高い方は6g未満で十分と思われま。医師は、患者さんの塩分処理能力を見越して、塩分療法を提案しています。一方で、塩分は体を維持するために欠かせない栄養素です。通常は1日に汗や尿から1.5gの塩分が失われるといわれますが、高温多湿の環境では、熱中症予防のためにも最小限の塩分を取る必要があります。塩分を減らすためには、味を薄くする量を減らすしか

ありません。しかし、長年慣れ親しんだ味を今日から変えるのは難しいと思います。味付けを変えたりも、味噌汁や梅干しの回数を減らしたり、減塩の調味料や塩分を含まない香辛料(コショウ、トウガラシなど)や酸味・甘味などを利用したりすることで、食事を楽しむながら減塩をしてみると意識することが出来ます。食への工夫 ●減塩調味料を使う ●辛味や酸味を利用する 調理法の工夫

また、食べ物の中に塩分がしみ込んでいたり煮物、漬物物、佃煮、練り製品(かまぼこ、ソーセージ、チーズなど)を少な目にするだけでも十分な減塩効果が期待できます。食への工夫 ●減塩調味料を使う ●辛味や酸味を利用する 調理法の工夫

塩分が多いかどうかは自分で「むくみ」で確認できます。むくみは、足のすね(骨の内側)の部分に10秒間押し、指の跡が残らないかチェックしてください。重力の関係でむくむ場合もありますが、指のあとがすぐに戻らず、朝でもむくんでいる場合には病的なサインかもしれません。「体の中に余計な塩分が多いのでは」と疑って、自分で血圧を測ることは、数字を確認するだけでなく、体調の良し悪しを判断することもできます。いつもよりも血圧が高いときには、なんらかのストレスがかかっている恐れがありますので、無理をせず、慎重に行動しましょう。同じ天寿を全うすることでも、寝たきりの天寿なのか元気な天寿なのかによつて余生は変わってきます。そのために、治療を続けるとともに、医師と相談しながら減塩を中心とした食事や生活習慣を見直し、今からでも少しずつ軌道修正していきましょう。

健康医療ナビ

放っておくと怖い! 高血圧

高血圧と診断されても自覚症状がなく、治療を受けない人も多いという。放っておくと脳や心臓、腎臓などに負担をかけて命に関わる疾病を招くことも。「高血圧症」の基礎知識と予防法について、サンシャイン・クリニック(つくば市)の金丸修三先生に話を聞きました。

今回お話を伺ったのは



サンシャイン・クリニック 院長 金丸 修三 先生

高血圧の診断基準 診察室で測定した血圧 140/90 mmHg以上 家庭で測定した血圧 135/85 mmHg以上 日本高血圧学会 「高血圧治療ガイドライン2014」より

心臓は1分間に5ℓ、80年間に約20万ℓの血液を、絶えず全身の隅々まで送り出しています。その血液を心臓が送り出す圧が「血圧」です。心臓が収縮したときの血圧が最高血圧であり、血液でふくらんだ大動脈が元に戻る時に押し出す圧が最低血圧です。血圧は、体の状況によって速やかに変動し、安静時には最も低い状態になります。

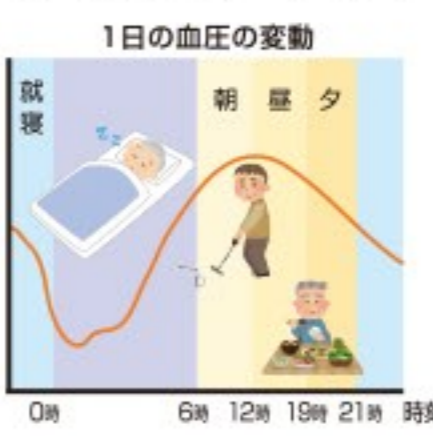
筑波学園病院 筑波学園病院では高血圧症に対し循環器内科、腎臓内科、神経内科等で多角的な診療を行っています。高血圧はメタボにも関連が深いのですが、県内に15名しかいないロコモティブアディバイザーである原田病院院長在籍の整形外科もあり、運動療法を含めた総合的高血圧治療が可能です。

ひたち野ファミリークリニック 当院は何でも相談できる「かかりつけ医」として、病気について丁寧に説明し、安心してできる医療を心がけています。皮膚科の副院長と二人で、最新の設備で、専門性の高い医療を提供します。健康寿命を延ばすため、生活習慣病の予防と治療に取り組んでいます。お気軽にご相談下さい。

つちうら東口クリニック 高血圧や動脈硬化、認知症などの悪化要因に慢性炎症があり、魚と鶏を中心とした地中海食で改善するそうです。漢方的には瘀血体質そのもので、瘀血薬で改善できます。高血圧治療中で動脈硬化が心配な人や、血圧の薬を飲むほどでもない人に漢方の食養生と瘀血薬をお勧めします。

血圧を下げる確実な方法は、「余計な塩分を減らすこと」です。腎臓が健康であれば余計な塩分は尿に出してくれますが、加齢とともに腎臓の処理能力が低下し、若い頃と同じように塩分を取ると、体に残ってしまうので血圧上昇を招きます。

高血圧120の人でも、運動時や緊張(ストレス)時には150〜250まで上昇します。もしも、安静時血圧150の人にストレスがかかれば、そこに上乗せされて、もろい血管が破裂する恐れがあります。脳、心臓(冠状動脈)、腎臓の血管は、直接高い圧がかかる構造のために傷みやすく、脳卒中、虚血性心疾患、腎不全など生死に関わる病気の原因となります。



塩分と血圧の関係 味を変えずに量を変える 血圧を下げる確実な方法は、「余計な塩分を減らすこと」です。腎臓が健康であれば余計な塩分は尿に出してくれますが、加齢とともに腎臓の処理能力が低下し、若い頃と同じように塩分を取ると、体に残ってしまうので血圧上昇を招きます。

定期的に健康診断を受けましょう。私たちは皆様の健康をサポートします

定期的に健康診断を受けましょう。私たちは皆様の健康をサポートします

Advertisement for Sunshin Clinic (サンシャイン・クリニック) featuring early diagnosis and treatment of various conditions. It lists services like general health checkups (7,000 yen), cardiovascular health checkups (33,000 yen), lung health checkups (22,000 yen), and a health festival on September 10th. Contact info: 029-839-3333.

Advertisement for Sunshin Clinic (サンシャイン・クリニック) featuring a variety of medical services. It lists departments like Internal Medicine, Neurology, and Pediatrics, and mentions a health festival on September 10th. Contact info: 029-869-8882.